

第2章 クジャク営巣卵の探索および駆除

2.1 はじめに

外来種の個体数を抑制するためには、その繁殖を抑制することが重要であると考え。当該業務においては、クジャクの繁殖を抑制するため、探索犬を用いて、黒島内でのクジャク営巣卵駆除を実施した。

2.2 方法

(1) 探索犬

当該業務においては4頭の探索犬を用いた。使用犬種はウェルシュコーギー・ペンブローク（以下、「コーギー」という。）1頭、ブリタニー・スパニエル（以下、「ブリタニー」という。）1頭、ブリタニー×コーギー2頭とした（図2.1）。



図 2.1 探索犬（コーギー（左）、ブリタニー×コーギー（右））

(2) 調査日程

調査は4月に5日間、5月に11日間、6月に5日間、合計21日間実施した(表2.1)。

表 2.1 平成30年度黒島における探索日程

月	4月																															日数		
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
探索実施日																																		5
月	5月																															日数		
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
探索実施日																																		11
月	6月																															日数		
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
探索実施日																																		5
合計21日																																		

(3) 探索ライン

当該調査では、平成29年度事業で実施した生息調査において確認した個体群の分布状況および営巣可能な環境が存在する地域において、30分から1時間程度で終了可能な調査ルートとして、のべ89ラインを設定した。なお、1ラインあたりの探索で1~2頭の探索犬を使用した。

2.3 調査結果

平成 30 年度は 89 回・81.3 時間 (162.6 人時)・122.4km の探索により、合計 33 巣 157 個の営巣卵を発見・駆除した (表 2.3 および図 2.2)。今年度の月ごとの発見巣数は 5 月に 17 巣と最も高かった。なお、単位探索距離あたりの発見巣数は当該業務で過去 3 年間で最も低い値を示したが、これは平成 28 年度に 103 羽、平成 29 年度に 200 羽の個体を駆除しており (表 2.4)、その成果が表れていると推測できる。

また、黒島全体を地域の環境または個体群の生息状況にあわせて 8 つのエリアに分類してデータ整理を行うこととした。地域ごと (L01~L08) の探索結果の詳細をそれぞれ図 2.3~2.9 に示した。表 2.3 に示すとおり、調査地域全体での巣発見率は昨年度の 0.32 巣/人時から 0.20 巣/km に減少しており、エリアごとでは合計 5 エリア (L03、L04、L05、L06、L08) で減少、L02 で 3 年とも発見なしであり、L01 および L07 のみで増加となっている。

表 2.3 平成 30 年度黒島におけるクジャク営巣卵発見結果

月	探索人時			探索距離 (km)			発見巣数 (巣)			発見卵数 (個)			巣発見率 (巣/人時)		
	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30
4月	62.0	79.5	44.6	65.8	83.4	34.5	23	24	10	108	137	49	0.37	0.30	0.22
5月	48.8	74.8	91.0	32.8	57.5	63.7	14	27	17	68	123	82	0.29	0.36	0.19
6月	21.7	22.0	27.0	15.5	16.4	24.2	1	6	6	6	17	26	0.05	0.27	0.22
合計	132.5	176.3	162.6	114.1	157.3	122.4	38	57	33	182	277	157	0.29	0.32	0.20

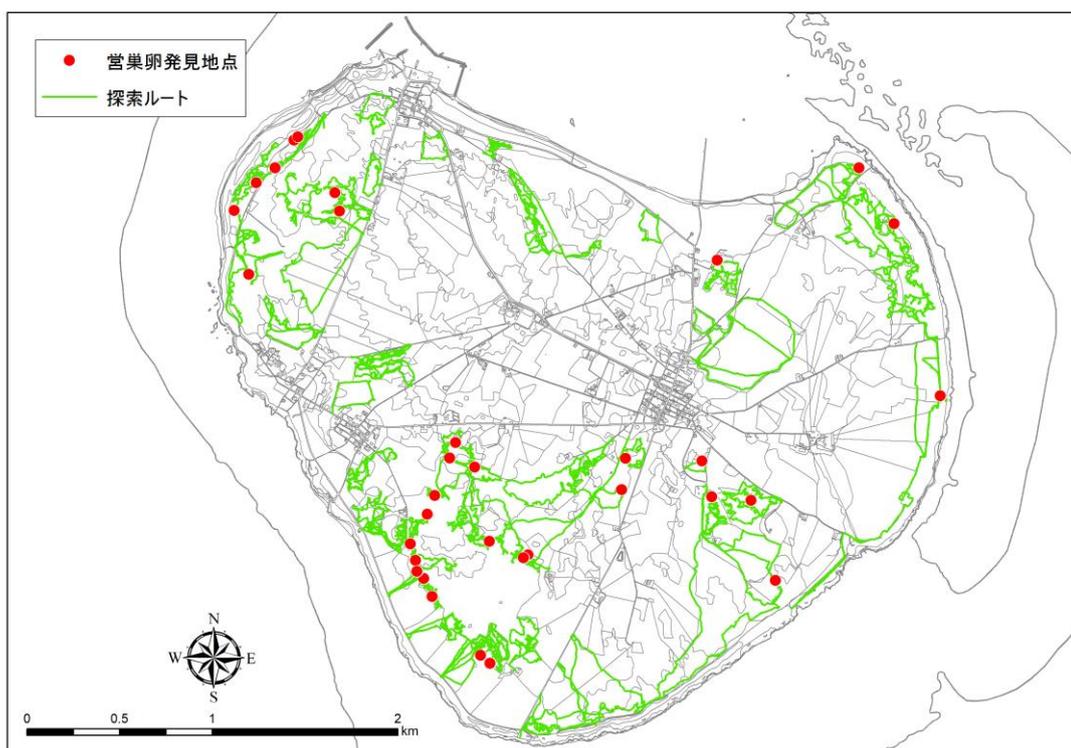


図 2.2 平成 30 年度黒島における営巣卵発見地点

表 2.4 黒島における営巣調査等結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	78	111	89
探索人時(人時)	132.6	176.4	162.7
卵地点数(巣)	38	57	33
卵数(個)	182	257	157
1巣あたりの個数(個/巣)	4.79	4.51	4.76
巣発見率(巣/人時)	0.29	0.32	0.20
生体駆除数(羽)	103	200	134

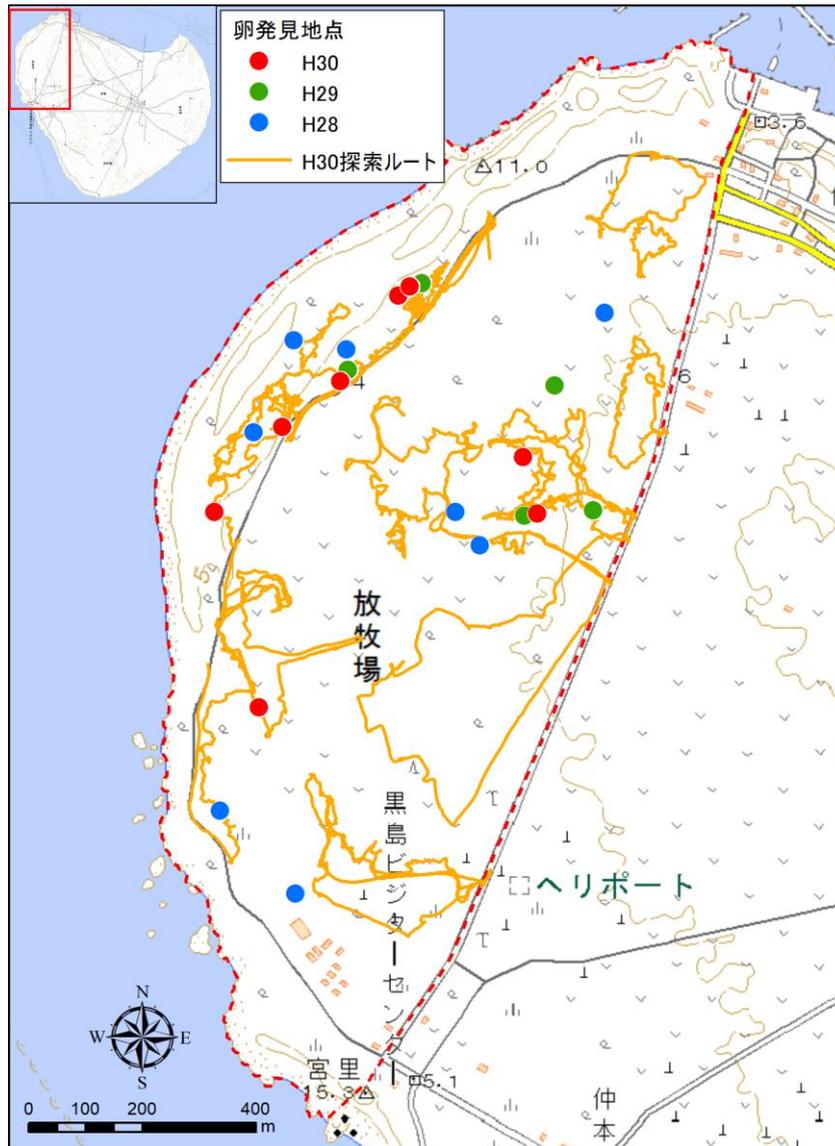


図 2.3 エリア L01 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.5 エリア L01 における営巣調査等結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	16	21	18
探索人時(人時)	30.3	33.2	33.0
卵地点数(巣)	8	4	8
卵数(個)	48	16	40
1巣あたりの個数(個/巣)	6.00	4.00	5.00
巣発見率(巣/人時)	0.26	0.12	0.24

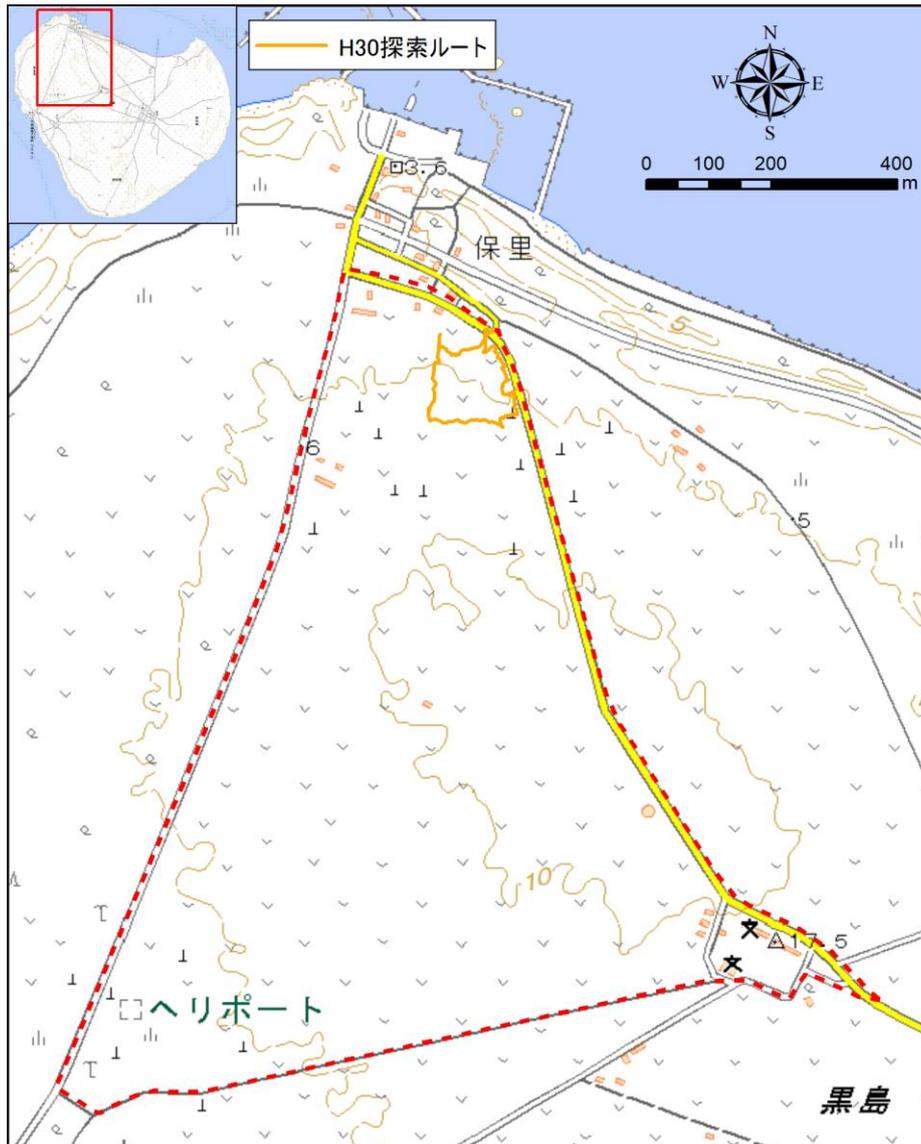


図 2.4 エリア L02 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.6 エリア L02 における営巣調査等結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	0	3	1
探索人時(人時)	0	4.0	1.0
卵地点数(巣)	0	0	0
卵数(個)	0	0	0
1巣あたりの個数(個/巣)	N/A	N/A	N/A
巣発見率(巣/人時)	-	0.00	0.00

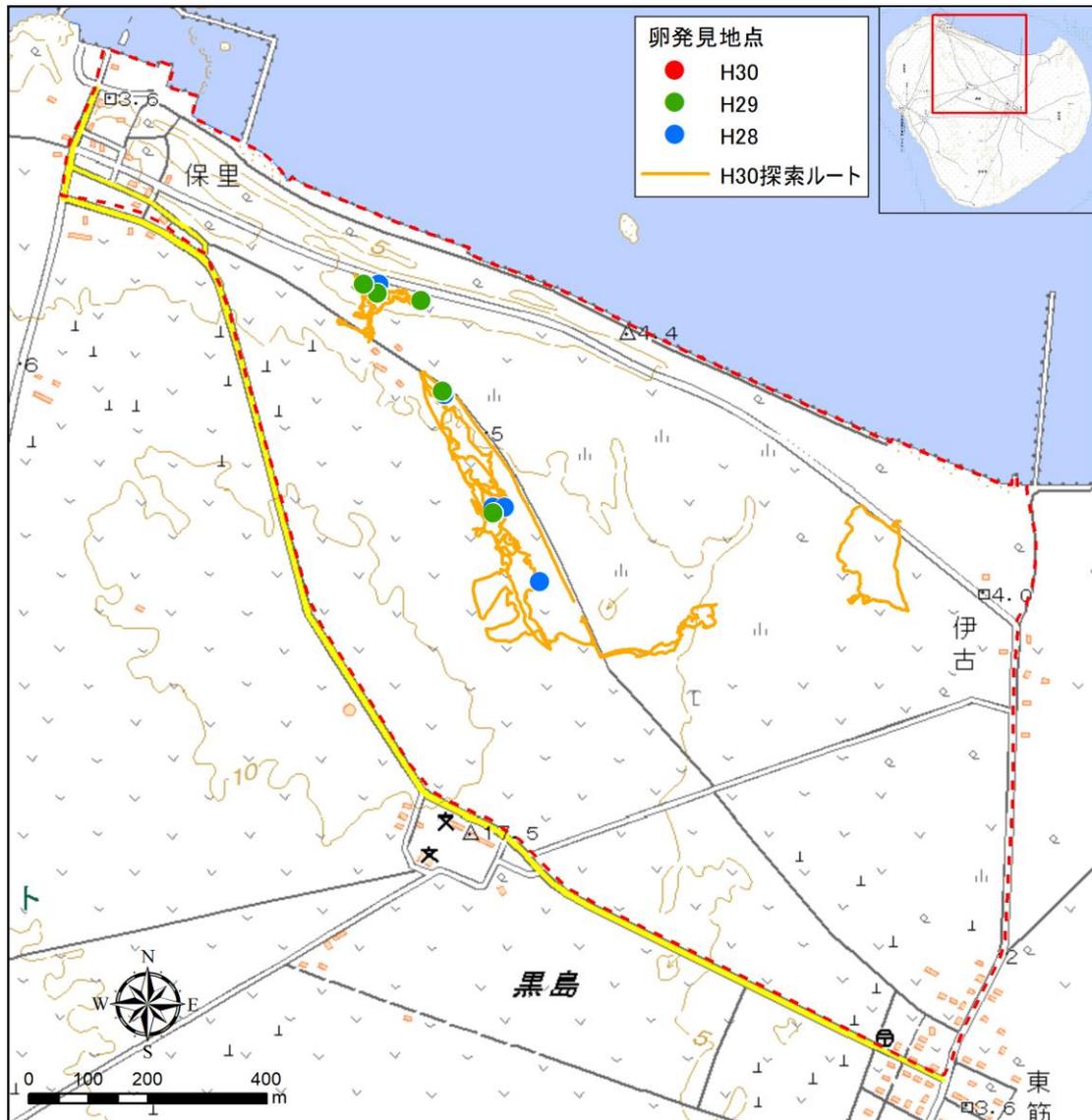


図 2.5 エリア L03 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.7 エリア L03 における営巣調査結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	7	9	6
探索人時(人時)	13.5	12.3	10.5
卵地点数(巣)	5	5	0
卵数(個)	28	31	0
1巣あたりの個数(個/巣)	5.6	6.2	0.0
巣発見率(巣/人時)	0.37	0.41	0.00

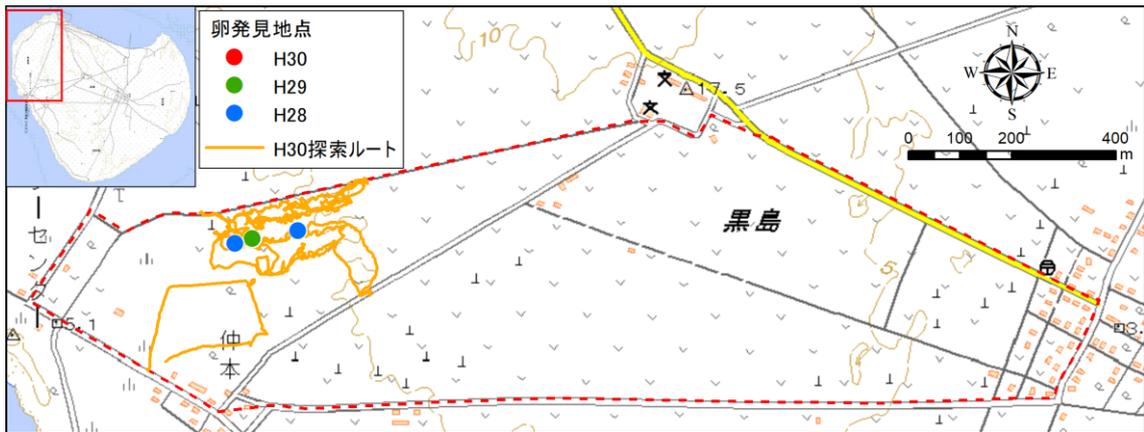


図 2.6 エリア L04 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.8 エリア L04 における営巣調査結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	5	7	6
探索人時(人時)	7.7	9.5	7.8
卵地点数(巣)	2	1	0
卵数(個)	8	5	0
1巣あたりの個数(個/巣)	4.0	5.0	-
巣発見率(巣/人時)	0.26	0.11	0.00

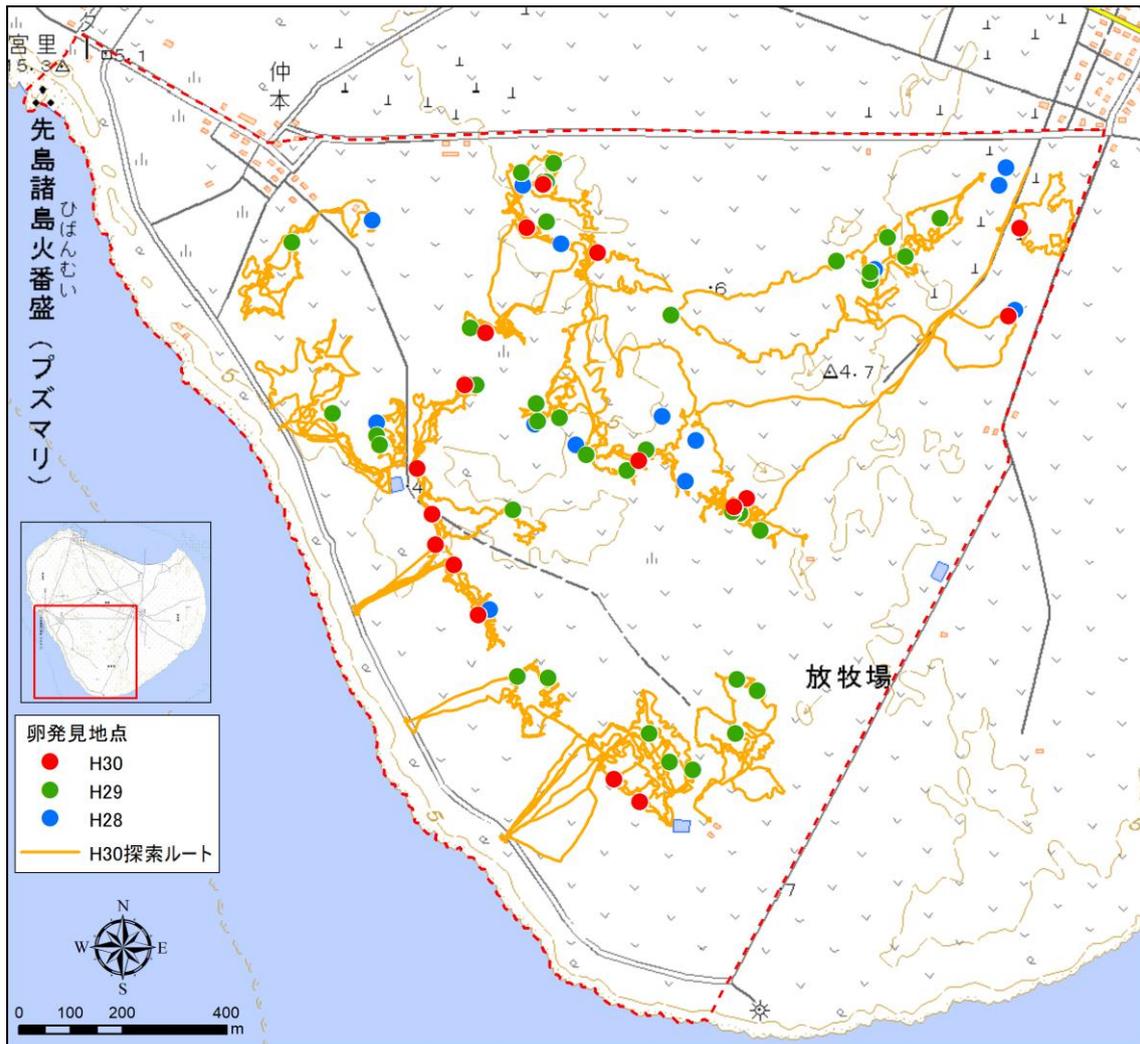


図 2.7 エリア L05 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.9 エリア L05 における営巣調査結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	28	45	32
探索人時(人時)	47.7	76.3	63.7
卵地点数(巣)	15	38	15
卵数(個)	60	183	85
1巣あたりの個数(個/巣)	4.0	4.8	5.7
巣発見率(巣/人時)	0.31	0.50	0.24

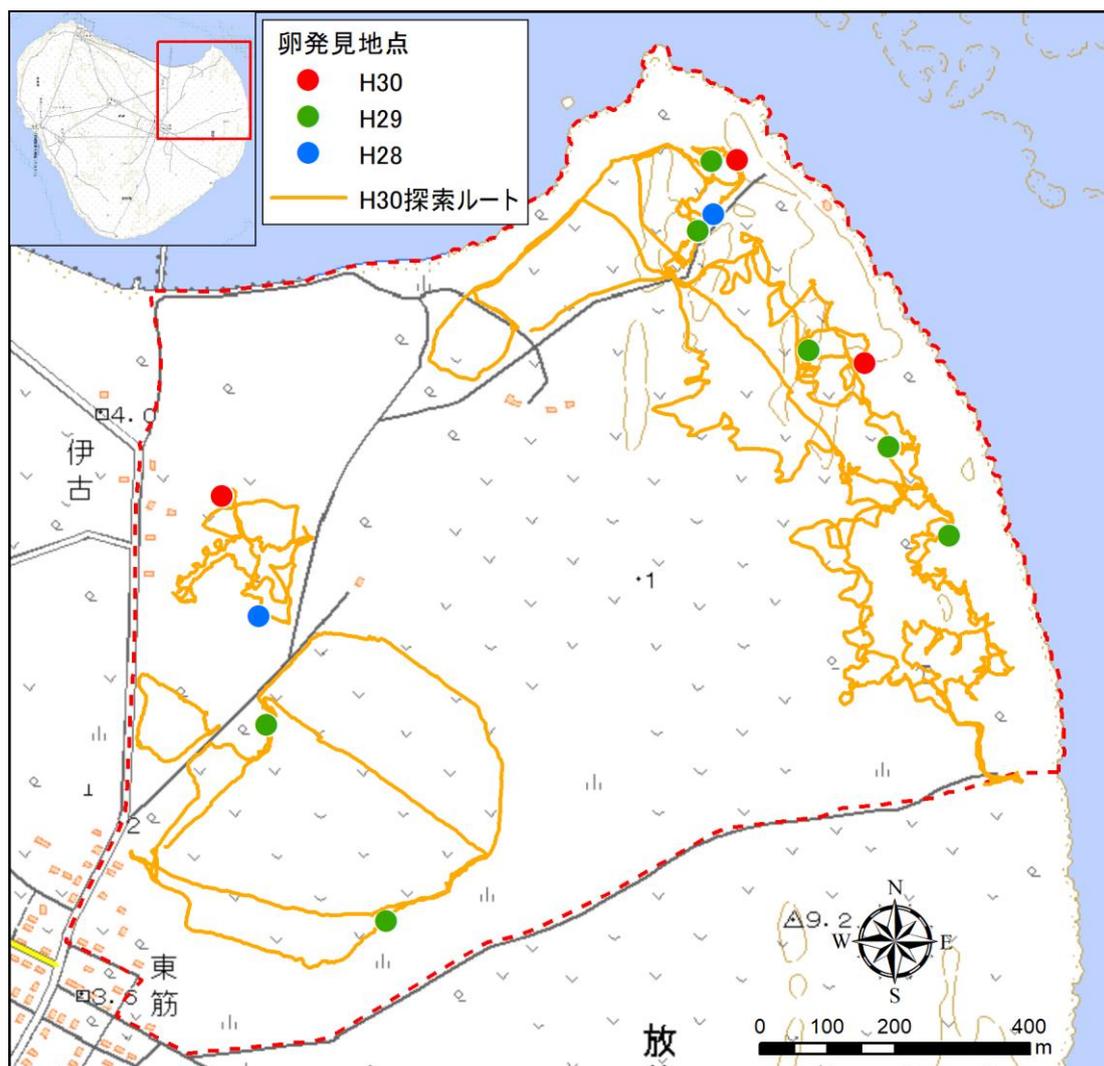


図 2.8 エリア L06 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.10 エリア L06 における営巣調査結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	11	14	11
探索人時(人時)	13.3	21.2	18.3
卵地点数(巣)	3	7	3
卵数(個)	14	23	11
1巣あたりの個数(個/巣)	4.7	3.3	3.7
巣発見率(巣/人時)	0.23	0.33	0.16

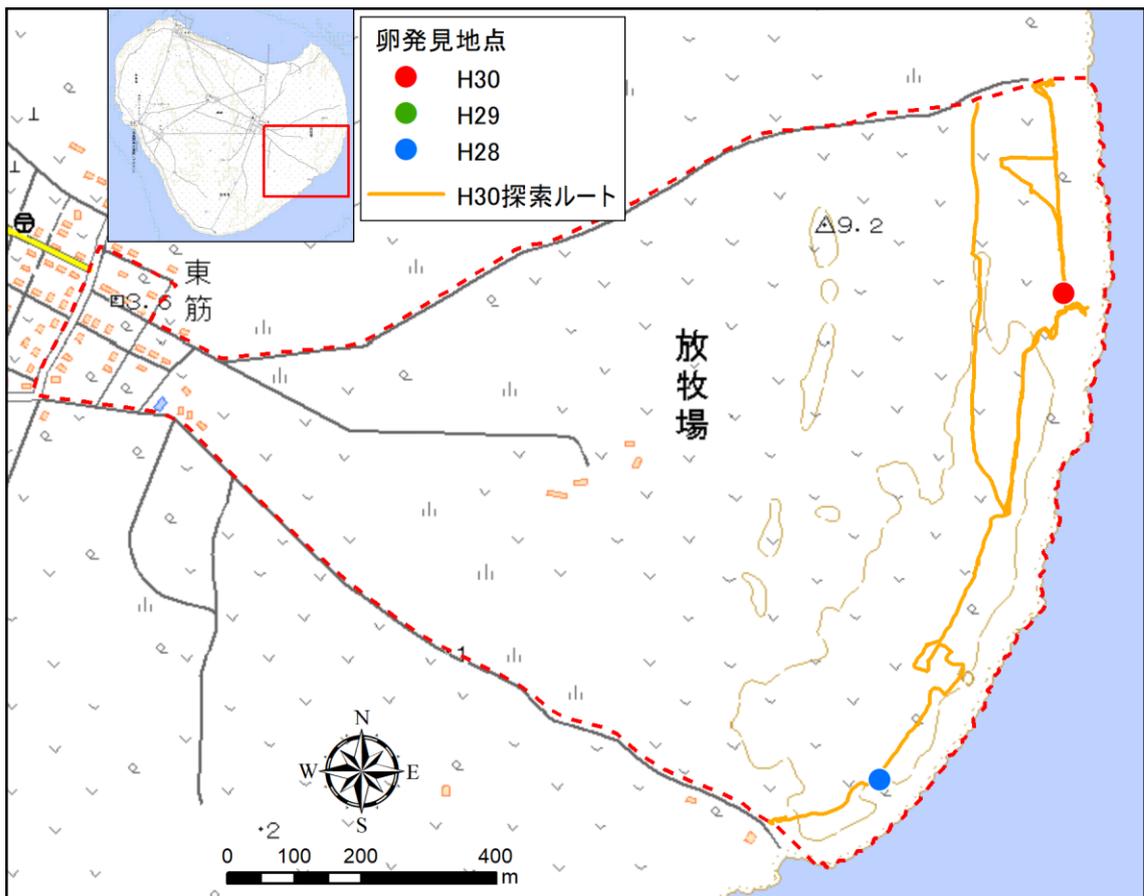


図 2.9 エリア L07 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.11 エリア L07 における営巣調査結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	4	2	3
探索人時(人時)	7.3	5.0	6.7
卵地点数(巣)	1	0	1
卵数(個)	2	0	3
1巣あたりの個数(個/巣)	2.0	N/A	3.0
巣発見率(巣/人時)	0.14	0.00	0.15

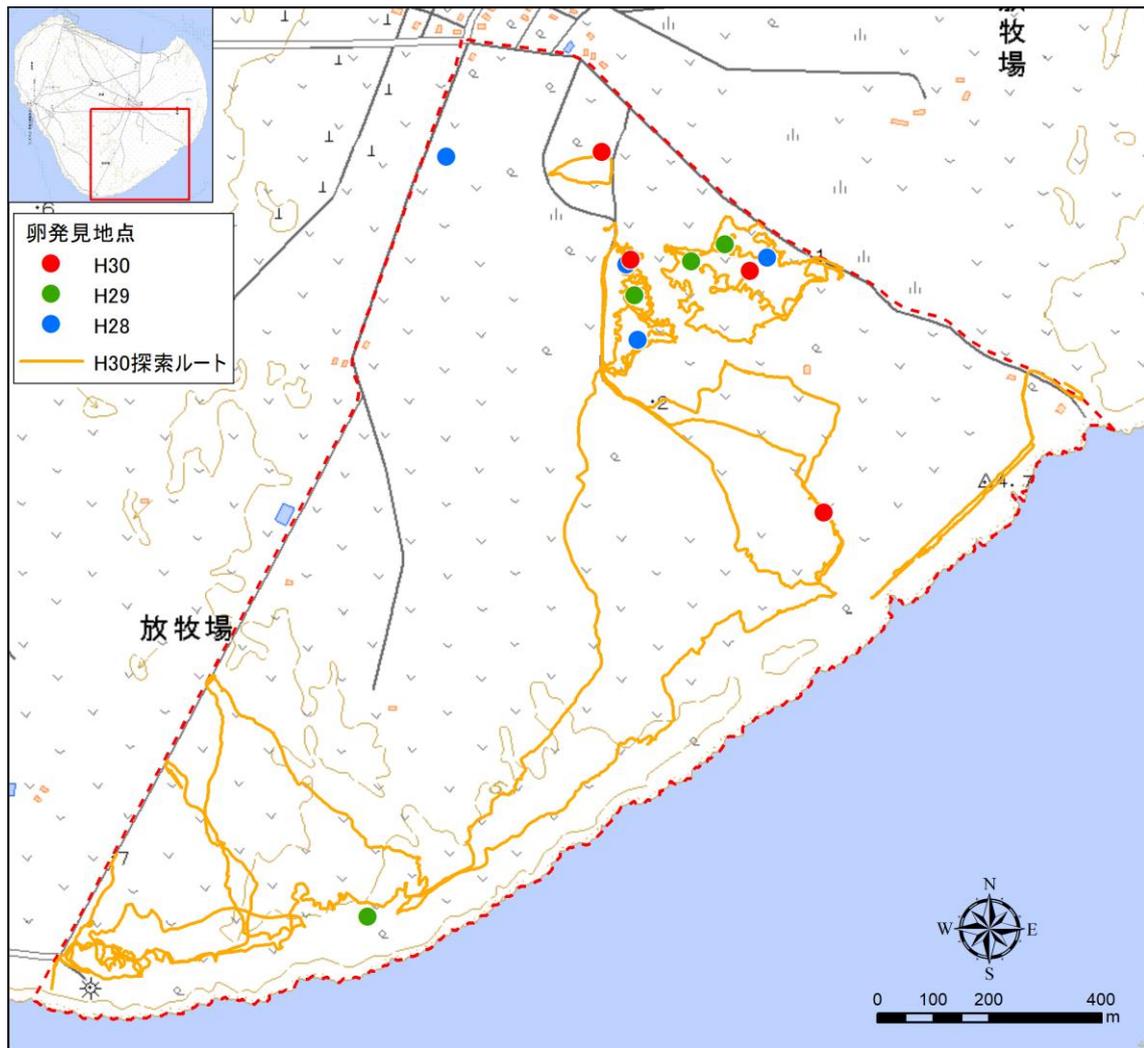


図 2.10 エリア L08 における営巣卵発見地点 (H28-30 年度)

表 2.12 エリア L08 における営巣調査結果経年推移

項目	H28	H29	H30
探索回数(回)	7	11	12
探索人時(人時)	12.7	15.2	21.7
卵地点数(巣)	4	4	4
卵数(個)	22	24	18
1巣あたりの個数(個/巣)	5.5	6.0	4.5
巣発見率(巣/人時)	0.32	0.26	0.18